

FAX通信



いでは

発行：平鹿地域振興局福祉環境部
TEL32-4005 FAX32-3389



こども感染症情報

'20.5.21
週報第 791 号

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第20週(5/11~5/17)	
	発生数(人)	前週との比較
感染性胃腸炎	8(0)	↗
突発性発疹	2(1)	↗
RSウイルス	1(0)	↗
手足口病	0(1)	↘
水痘	0(1)	↘

(参考) 秋田県の状況
第19週(5/4~5/10)

<全県の発生状況>

- 1位：感染性胃腸炎
(全県で前週より1.2倍に増加)
- 2位：溶連菌咽頭炎
(全県で前週より41%減少)
- 3位：突発性発疹
(全県で前週より15%減少)
- 4位：咽頭結膜熱
- 5位：水痘

県内 警報・注意報

注意報・警報はありません

※「管内状況」は横手保健所管内の5小児科定点による
※「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

新型コロナも心配だけど...

溶連菌咽頭炎にご注意ください

冬季と春から夏にかけて、患者報告数が増加しやすい病気です。

突然の発熱、のどの痛み、全身倦怠感で発症し、嘔吐などの胃腸症状や発疹を伴うこともあります。

こどもに多い病気ですが、兄弟や家族間の感染が多く、大人もかかる場合があります。



治療は

抗菌薬を処方された分、飲みきることが大切です。症状がよくなっても、中断せずに飲みきりましょう。



予防は

新型コロナ予防と同じ

手洗い、マスクの着用など、一般的な予防対策を心がけましょう。



横手地域・学校欠席者情報(5/18)

疾患名	インフルエンザ	感染性胃腸炎	流行性角結膜炎	水痘	伝染性紅斑	溶連菌咽頭炎	手足口病	その他
施設(数)								
保育所・園(35)								4
小学校(22)								
中学校(8)								
高校(7)								
特別支援学校								

感染症情報収集システムより(人)

FAX通信



いでは

発行：平鹿地域振興局福祉環境部
TEL32-4005 FAX32-3389



'20.5.27
週報第 792 号

こども感染症情報

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第21週(5/18~5/24)	
	発生数(人)	前週との比較
感染性胃腸炎	5(8)	↘
溶連菌咽頭炎	3(0)	↗
手足口病	1(0)	↗
突発性発疹	0(1)	↘
RSウイルス	0(1)	↘

※「管内状況」は横手保健所管内の5小児科定点による
※「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

(参考) 秋田県の状況 第20週(5/11~5/17)
＜全県の発生状況＞
1位：感染性胃腸炎 (全県で前週より1.4倍に増加)
2位：溶連菌咽頭炎 (全県で前週より3倍に増加)
3位：突発性発しん (全県で前週と同規模)
4位：咽頭結膜熱
5位：伝染性紅斑
県内 警報・注意報
注意報・警報はありません

つつがなく、過ごしましょう

新型コロナで自粛中ではありますが、5~6月は、ダニの一種のつつが虫によるつつが虫感染症が発生しやすい時期です。農作業や山菜採りなどの野外活動が感染の機会になることが多いようです。



症状 病原体を持ったつつが虫の幼虫に吸着された後、7~10日で発症します。
38℃以上の発熱があり、その後に発疹が出ます。
吸着された部分に1cm位のカサブタができます。

予防 つつが虫は身体についてから、吸着するまで6~10時間くらいかかるので、その間に次のような対策をしましょう。

- ① 野山、田畑、河川敷から帰った後は早めに着替えをする。
- ② 衣類は室内に持ち込まず、すぐに洗濯をする。
- ③ 帰宅後は、速やかに入浴し体を入念に洗う

余談ですが・・・

つつが虫の「つつが」とは「病気」や「災難」という意味があり、手紙などのあいさつで使われる「つつがなく・・・」というのは「病気や災難がないように」とのことなのです。つつがなく過ごしたいですね。

横手地域・学校欠席者情報(5/25)

疾患名	インフルエンザ	感染性胃腸炎	流行性角結膜炎	水痘	伝染性紅斑	溶連菌咽頭炎	手足口病	その他
施設(数)								
保育所・園(35)							1	1
小学校(22)						1		
中学校(8)		1						
高校(7)								
特別支援学校								

感染症情報収集システムより(人)

FAX通信



いでは

発行：平鹿地域振興局福祉環境部
TEL32-4005 FAX32-3389



'20. 6. 4
週報第 793号

こども感染症情報

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第22週 (5/25~5/31)	
	発生数 (人)	前週との比較
感染性胃腸炎	4 (5)	↘
溶連菌咽頭炎	1 (3)	↘
手足口病	1 (1)	→
突発性発疹	1 (0)	↗

※「管内状況」は横手保健所管内の5小児科定点による
※「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

(参考) 秋田県の状況
第21週 (5/18~5/24)

<全県の発生状況>

- 1位：感染性胃腸炎
(全県で前週より9%減少)
- 2位：溶連菌咽頭炎
(全県で前週より27%減少)
- 3位：突発性発しん
(全県で前週より2.2倍に増加)
- 4位：伝染性紅斑
- 5位：咽頭結膜熱

県内 警報・注意報

急性出血性結膜炎：警報 横手

新型コロナ対策 クイズに挑戦!

全国的に自粛解除が広がってきていますが、油断大敵!
どこにコロナウイルスが潜んでいるかわかりません。

もしもに備えお勧めしている「新しい生活様式」をクイズで確認してみましょう。「YAHOO!クイズでわかる!新型コロナ対策」より引用

- 第1問** 人との間隔は、何メートル開けることが推奨されている?
A 間隔は不要
B 2メートル
C 20メートル

- 第2問** 外出時や会話をするときの適切なスタイルは?
A 症状がなくてもマスク着用
B 体調がよければマスクは不要
C 会社・施設・学校の中であればマスクは不要



回答は次週掲載します。

待ちきれない方は、「YAHOO!クイズでわかる!新型コロナ対策」をチェック!

横手地域・学校欠席者情報 (6/1)

疾患名	イ ン フ ル エ ン ザ	感 染 性 胃 腸 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	水 痘	伝 染 性 紅 斑	溶 連 菌 咽 頭 炎	手 足 口 病	そ の 他
施設 (数)								
保育所・園 (35)							1	
小学校 (22)								
中学校 (8)		1						
高校 (7)								
特別支援 学校								

感染症情報収集システムより (人)

FAX通信



いでは

発行：平鹿地域振興局福祉環境部
TEL32-4005 FAX32-3389



'20. 6.11
週報第 794号

こども感染症情報

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第23週(6/1~6/7)	
	発生数(人)	前週との比較
感染性胃腸炎	6 (4)	↗
手足口病	4 (1)	↗
突発性発疹	1 (1)	→
溶連菌咽頭炎	0 (1)	↘

※「管内状況」は横手保健所管内の5小児科定点による
※「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

(参考) 秋田県の状況
第22週(5/25~5/31)

＜全県の発生状況＞

- 1位：感染性胃腸炎
(全県で前週より1.3倍に増加)
- 2位：溶連菌咽頭炎
(全県で前週より1.1倍に増加)
- 3位：突発性発疹
(全県で前週より37%減少)
- 4位：咽頭結膜熱
- 5位：手足口病

県内 警報・注意報

注意報・警報はありません

新型コロナ対策 クイズに挑戦!

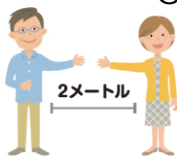
前回掲載したクイズの解答と解説です。

「YAHOO!クイズでわかる!新型コロナ対策」より引用

第1問 人との間隔は、何メートル開けることが推奨されている?

- A 間隔は不要
- B 2メートル
- C 20メートル

【答え】 B 2メートル



くしゃみや咳、つばなどによる感染を防ぐために、人との間隔はできるだけ2メートルは空けましょう

第2問 外出時や会話をするときの適切なスタイルは?

- A 症状がなくてもマスク着用
- B 体調がよければマスクは不要
- C 会社・施設・学校の中であればマスクは不要

【答え】 A 症状がなくてもマスク着用



症状がなくても、他の人に感染を広げるのを防ぐため、人と接したり会話するときにはマスクを着用しましょう

横手地域・学校欠席者情報(6/8)

疾患名	インフルエンザ	感染性胃腸炎	流行性角結膜炎	水痘	伝染性紅斑	溶連菌咽頭炎	手足口病	その他
施設(数)								
保育所・園(35)							4	
小学校(22)								
中学校(8)								
高校(7)								
特別支援学校								

感染症情報収集システムより(人)



いでは

発行:平鹿地域振興局福祉環境部
TEL32-4005 FAX32-3389



'20. 6.17
週報第 795号

こども感染症情報

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第24週(6/8~6/14)	
	発生数(人)	前週との比較
感染性胃腸炎	6 (6)	→
手足口病	5 (4)	↗
突発性発疹	2 (1)	↗
伝染性紅斑	1 (0)	↗

※「管内状況」は横手保健所管内の5小児科定点による
※「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

(参考) 秋田県の状況
第23週(6/1~6/7)

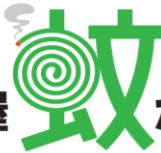
＜全県の発生状況＞

- 1位: 感染性胃腸炎
(全県で前週より18%減少)
- 2位: 溶連菌咽頭炎
(全県で前週より1.1倍に増加)
- 3位: 突発性発しん
(全県で前週より26%減少)
- 4位: 咽頭結膜熱
- 5位: 水痘

県内 警報・注意報

注意報・警報はありません

感染症の運び屋



から



バリアーで身を守れ!!!

梅雨入りを前に、日中は暑い日があったり、涼しかったりと体温調整が難しい毎日ですが、いかがお過ごしでしょうか。

これからの季節、蚊の活動が活発になってきます。蚊の中には日本脳炎やデング熱などの病気を持っているものもあり、刺されると感染してしまいます。蚊に刺されないように注意しましょう。

やぶなど蚊がいそうな場所に行くときは

虫除け剤でバリア



服や靴でバリア



横手地域・学校欠席者情報(6/15)

疾患名	イ ン フ ル 工 ン ザ	感 染 性 胃 腸 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	水 痘	伝 染 性 紅 斑	溶 連 菌 咽 頭 炎	手 足 口 病	そ の 他
施設 (数)								
保育所・園 (35)							1	
小学校 (22)							1	
中学校 (8)								
高校(7)								
特別支援 学校								

感染症情報収集システムより(人)

FAX通信



いでは

発行：平鹿地域振興局福祉環境部
TEL32-4005 FAX32-3389



'20. 7. 15
週報第 799号

こども感染症情報

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第28週(7/6~7/12)	
	発生数(人)	前週との比較
感染性胃腸炎	11(8)	→
突発性発疹	5(4)	→
溶連菌咽頭炎	1(0)	→
水痘	1(0)	→
川崎病	1(0)	→

(参考) 秋田県の状況 第27週(6/29~7/5)
<全県の発生状況>
1位：感染性胃腸炎 (全県で前週と同規模)
2位：溶連菌咽頭炎 (全県で前週より15%減少)
3位：咽頭結膜熱 (全県で前週より2.1倍に増加)
4位：突発性発しん
5位：流行性角結膜炎
県内 警報・注意報
注意報・警報はありません

※「管内状況」は横手保健所管内の5小児科定点による
※「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

夏に流行しやすい病気の話③

咽頭結膜熱

原因

アデノウイルスが原因で、プールの水を介して感染拡大することがあるため、プール熱とも呼ばれています。

症状

38~39℃の発熱から始まり、のどと眼に炎症が起きます。

経過

感染してから症状が出るまでは5~7日。

発熱は3~4日程度、眼やのどの症状は1~2週間でおさまります。高熱が3日以上続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

予防

接触感染に対しての、手洗いが大事です。

タオルの共有を避けるのはもちろんですが、目やにはティッシュで拭き、すぐに捨てましょう。

プールを集団で利用する場合は、塩素濃度を適切に管理しましょう。

のどから2週間、便から30日間ウイルスが排出されますので、特に便の処理には気をつけましょう。



横手地域・学校欠席者情報(7/13)

感染症情報収集システムより(人)

疾患名	イ ン フ ル エ ン ザ	感 染 性 胃 腸 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	水 痘	伝 染 性 紅 斑	溶 連 菌 咽 頭 炎	手 足 口 病	そ の 他
施設(数)								
保育所・園(35)		1						6
小学校(22)								
中学校(8)								
高校(7)								
特別支援学校								

7デノウイルス
感染症
5人

